

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月14日

【四半期会計期間】 第114期第1四半期(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

【会社名】 株式会社シマノ

【英訳名】 SHIMANO INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 島野容三

【本店の所在の場所】 堺市堺区老松町3丁77番地

【電話番号】 072-223-3254

【事務連絡者氏名】 経理部長 廣瀬充康

【最寄りの連絡場所】 堺市堺区老松町3丁77番地

【電話番号】 072-223-3254

【事務連絡者氏名】 経理部長 廣瀬充康

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第113期 第1四半期 連結累計期間	第114期 第1四半期 連結累計期間	第113期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (百万円)	87,714	76,920	363,230
経常利益 (百万円)	14,421	23,340	69,471
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	10,050	19,663	51,833
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	13,386	479	50,167
純資産額 (百万円)	459,658	482,529	489,236
総資産額 (百万円)	509,358	532,212	538,769
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	108.42	212.12	559.15
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	90.2	90.6	90.8

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税及び地方消費税（以下「消費税等」という）は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におきましては、世界的な新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大を受け、欧州では、各国で移動制限や閉店措置など企業活動の大規模な制限、それに伴う個人消費の急激な退潮により景気は大きく落ち込むこととなりました。米国では、3月に新型コロナウイルス感染者の増大を受け行動制限措置がとられ、良好であった雇用・所得環境が急激に悪化し、個人消費の下押しが懸念されるなど景気の先行きに対する不透明感が強まりました。日本では、新型コロナウイルス対策としての外出自粛要請により個人消費が下振れし、景気後退の懸念が強まりました。

当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよるこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりの中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしまいにまいりました。

結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は76,920百万円（前年同期比12.3%減）、営業利益は12,658百万円（前年同期比22.3%減）、為替差益の計上等により、経常利益は23,340百万円（前年同期比61.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19,663百万円（前年同期比95.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### 自転車部品

欧州市場では、年始からの暖冬もあり完成車の店頭販売は電動アシスト車を中心に好調を維持していましたが、3月後半から新型コロナウイルスの影響を受けて急激に鈍化し、市場在庫は急速に高まりました。

北米市場では、天候に恵まれ好調に推移していた完成車店頭販売が、3月に入り新型コロナウイルスの感染拡大を受け急激に減速し、市場在庫は高い水準となりました。

中国市場では、新型コロナウイルス蔓延の影響で店頭販売は低迷しました。一方、市場在庫は概ね適正に推移しました。

南米市場について、ブラジル市場は政情不安等による店頭販売の停滞から回復基調であったものの、3月後半に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け急速に鈍化しました。通貨安が続くアルゼンチン市場は低迷が続きました。

日本市場では、通勤通学用軽快車と中高級スポーツバイクの店頭販売は低調に終わりましたが、電動アシスト車は引き続き好調を維持しました。市場在庫は概ね適性水準を維持しました。

このような市況のもと、高級マウンテンバイクコンポーネントの「Deore XT」や「SLX」、グラベル・アドベンチャーコンポーネント「GRX」が好評を得ました。また、電動アシストスポーツバイクコンポーネント「SHIMANO STEPS」も高い評価を得ました。

この結果、当セグメントの売上高は58,868百万円（前年同期比15.4%減）、営業利益は10,298百万円（前年同期比26.1%減）となりました。

#### 釣具

日本市場では、年初からの暖冬と安定した天候によりファミリー層の需要が喚起され小売店の販売は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルスの影響で3月に入り消費者マインドは低下しました。

海外市場において、北米市場では、昨年未から好調であった販売は、3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大を受け各州で外出制限等規制が敷かれ、一気に低調なものとなりました。欧州市場では、年初は各主要マーケットにおける販売は好調に推移していましたが、3月に入り新型コロナウイルスの影響から販売は大きく減退しました。アジア市場では、中国では新型コロナウイルスによる混乱がやや落ち着きを見せ、販売は堅調さを取り戻しつつあるものの、その他の国では販売は低調に推移しました。豪州市場では、森林火災や洪水被害に加えて新型コロナウイルス感染拡大の影響により販売は低調に終わりました。

このような市況のもと、日本市場では、「Metanium」、「TWIN POWER」等の新製品や普及価格帯の商品の販売が継続して堅調で、売上は前年を上回りました。また、海外市場では、新型コロナウイルスによる影響が大きく、売上は前年を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は17,976百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は2,391百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

その他

当セグメントの売上高は75百万円（前年同期比2.6%減）、営業損失は30百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は532,212百万円（前連結会計年度比6,557百万円の減少）となりました。これは、建物及び構築物15,493百万円増加し、現金及び預金が15,712百万円、建設仮勘定が7,715百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は49,683百万円（前連結会計年度比149百万円の増加）となりました。これは、短期借入金が4,526百万円増加し、未払法人税等が2,945百万円、買掛金が1,233百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は482,529百万円（前連結会計年度比6,707百万円の減少）となりました。これは、利益剰余金が12,479百万円増加し、為替換算調整勘定が17,442百万円減少したこと等によるものです。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は3,087百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	262,400,000
計	262,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年5月14日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	92,720,000	92,720,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	92,720,000	92,720,000	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金 残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日		92,720		35,613		5,822

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である2019年12月31日現在で記載しております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 19,200	-	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 92,639,100	926,391	同上
単元未満株式	普通株式 61,700	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	92,720,000	-	-
総株主の議決権	-	926,391	-

(注)「単元未満株式」には当社所有の自己株式72株が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社シマノ	堺市堺区老松町3丁77番地	19,200	-	19,200	0.02
計		19,200	-	19,200	0.02

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	270,070	254,357
受取手形及び売掛金	36,192	34,343
商品及び製品	39,904	43,036
仕掛品	23,874	24,372
原材料及び貯蔵品	5,156	5,016
その他	6,336	8,091
貸倒引当金	345	358
流動資産合計	381,189	368,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	55,211	70,705
機械装置及び運搬具（純額）	21,615	20,610
土地	13,575	13,385
リース資産（純額）	3,239	3,300
建設仮勘定	25,457	17,742
その他（純額）	5,612	5,626
有形固定資産合計	124,712	131,371
無形固定資産		
のれん	3,886	3,738
ソフトウェア	5,562	5,514
その他	4,160	4,856
無形固定資産合計	13,610	14,109
投資その他の資産		
投資有価証券	12,328	9,774
繰延税金資産	5,337	5,890
その他	2,147	2,759
貸倒引当金	555	552
投資その他の資産合計	19,257	17,872
固定資産合計	157,580	163,353
資産合計	538,769	532,212



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,529	12,296
短期借入金	3,167	7,693
未払法人税等	7,046	4,101
賞与引当金	2,183	2,077
役員賞与引当金	161	39
火災損失引当金	10	-
その他	17,501	17,458
流動負債合計	43,599	43,666
固定負債		
長期借入金	1	1
繰延税金負債	1,005	1,450
退職給付に係る負債	3,220	2,963
その他	1,706	1,600
固定負債合計	5,933	6,016
負債合計	49,533	49,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,642	5,642
利益剰余金	448,941	461,420
自己株式	135	137
株主資本合計	490,061	502,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,687	949
為替換算調整勘定	3,663	21,106
その他の包括利益累計額合計	976	20,157
非支配株主持分	151	148
純資産合計	489,236	482,529
負債純資産合計	538,769	532,212

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	87,714	76,920
売上原価	53,787	47,006
売上総利益	33,926	29,913
販売費及び一般管理費	17,641	17,254
営業利益	16,285	12,658
営業外収益		
受取利息	1,068	874
受取配当金	80	63
為替差益	-	10,074
その他	280	225
営業外収益合計	1,429	11,239
営業外費用		
支払利息	22	32
寄付金	713	10
為替差損	2,359	-
固定資産除却損	42	458
その他	156	56
営業外費用合計	3,293	558
経常利益	14,421	23,340
特別損失		
工場建替関連費用	4	100
火災損失	200	-
特別損失合計	205	100
税金等調整前四半期純利益	14,216	23,239
法人税、住民税及び事業税	4,894	2,916
法人税等調整額	731	655
法人税等合計	4,162	3,572
四半期純利益	10,054	19,667
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,050	19,663

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	10,054	19,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	1,738
為替換算調整勘定	3,414	17,449
その他の包括利益合計	3,332	19,187
四半期包括利益	13,386	479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,384	482
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

2018年3月26日に当社本社工場(堺市堺区)において発生した火災事故による損失額であり、復旧に係る費用及びその他関連費用を計上しております。

なお、この損失額には火災損失引当金繰入額が含まれており、現時点で合理的な見積りが可能な範囲における見積額を計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	4,319百万円	4,498百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月26日 定時株主総会	普通株式	7,184	77.50	2018年12月31日	2019年3月27日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月26日 定時株主総会	普通株式	7,184	77.50	2019年12月31日	2020年3月27日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,603	18,032	77	87,714	-	87,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	69,603	18,032	77	87,714	-	87,714
セグメント利益又は損失( )	13,926	2,364	5	16,285	-	16,285

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,868	17,976	75	76,920	-	76,920
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	58,868	17,976	75	76,920	-	76,920
セグメント利益又は損失( )	10,298	2,391	30	12,658	-	12,658

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益	108円42銭	212円12銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	10,050	19,663
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	10,050	19,663
普通株式の期中平均株式数(千株)	92,701	92,700

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月1日

株式会社シマノ  
取締役会 御中

### 清稜監査法人

代表社員 業務執行社員	公認会計士	石井和也	印
業務執行社員	公認会計士	加地大毅	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社シマノの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社シマノ及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビュー対象には含まれていません。